

3年生ガイダンス

〈大学生活の後半戦開始！！〉

大学3年生という時期は、大学卒業後の目標進路に向かって本格的な準備ができる最後の期間です。4年生になると、就職活動が本格的に始まるため企業説明会や面接の用事が多くはなり、思うように勉強・就職準備の時間を確保することができなくなります。ですので、3年生の早い内にしっかり準備しておきましょう。また、4年生になった時にまだ修得していない単位（卒業要件）が多く残っているという状況に陥らないよう、3年生の内に十分に単位を取っておくことを意識してください。

1. 法学検定試験

(1) 法学スキル基礎（必修科目）、法学検定試験ベーシックコース

必修科目である「法学スキル基礎」の単位を取得していない学生は、3年生の内にこの科目を取得することを優先してください。また、それと同時に、11月末（予定）の法学検定試験ベーシックコースも必ず受験してください。繰り返しになりますが、「法学スキル基礎」は必修科目です。この科目の単位を取得できなければ卒業できません。

なお、「法学スキル基礎」の単位取得、あるいは法学検定試験ベーシックコース合格との関係においては、エクステンションセンターの「法学検定ベーシック講座」が役立ちます。

「法学スキル基礎」の単位をまだ取得していない学生は、大学生協旅行カウンターに行き、この対策講座に申し込んで勉強し、法学スキル基礎の単位取得に備えてください。

(2) 法学検定試験スタンダードコース

法学検定試験スタンダードに合格したならば、その試験対策科目の「法学スキル応用」の単位が認定されます。ベーシックで高得点を取った人は、ぜひともスタンダード試験に挑戦してください。法学検定試験スタンダードコースは「法学を専門的に学習する者が修得すべきレベル」の難易度です。このコースに合格できれば「大学でしっかり法学を学んだ」との客観的な証明となり、就職活動の際に他者と差をつけるためのアピールポイントにすることもできるでしょう。また、試験内容に専門科目が含まれている札幌市役所または国家公務員を目指す人にとっては、スタンダードコース合格のための勉強がきっと役に立つでしょう。

2. 資格取得

法学検定試験ベーシックは、あくまでも法律学の学びのファースト・ステップであって、到達点ではありません。エントリーシートや履歴書に自信をもって書くような資格ではありません。より上位の資格（たとえば宅建士、行政書士）に挑戦してください。

法学検定試験スタンダードコースについてはすでに述べたので、ここでは扱いません。

(1) 宅地建物取引士

宅地建物取引士(宅建士)の資格は法学部生に取りやすい資格であり、就活で勉学の努力を示すこともできます。また、宅地建物取引士は、この試験に合格するために問われる知識との関係で、たとえば不動産業界や金融機関への就職を目指す人にとっては強い武器になります。宅地建物取引士試験の対策として、エクステンションセンターに講座があります。

(2) 行政書士

行政書士という資格は、難易度は高いですが、資格取得がそのまま職業に直結します。また、行政書士行政書士試験の内容に含まれる憲法・民法・行政法は、公務員試験の専門科目において重要な地位を占めているので、行政書士試験の勉強をしておく、公務員試験にも役立ちます。もちろん、民間企業においても、難易度の高い行政書士試験に合格したという事実は、非常に強力な武器となるでしょう。行政書士試験についても、エクステンションセンターで講座が開講されています。

3. 公務員対策講座

(1) 行政職志望

公務員志望の学生は2年生から続けて、法学部の「公務員対策特別演習」を履修するだけでなく、エクステンションセンターのLEC 東京リーガルマインドの「公務員対策講座」(3年次生対象)も受講することを強く勧めます。法学部の「公務員特別演習」は教養科目に限った基礎的な水準のものです。北海道庁、さらに専門試験のある札幌市役所、国家公務員を目指すのであれば、LECの「公務員対策講座」を受講して下さい。

(2) 警察志望

警察官を目指す学生は、必ず「行政学特論A(警察学)」や、「法政特殊講義D」を履修してください。また、「公務員対策特別演習H」は警察官志望者向けに特化した対策授業です。目標の進路に関連した授業を積極的に履修してください。

4. 就職活動について

- ・キャリア支援課からのガイダンスでインターンシップの案内が出されると思いますが、積極的にインターンシップの申し込みをしましょう。就職活動について、何をすればよいかわからないといった疑問が生じたら、キャリア支援課に相談しましょう。
- ・SPI対策をしていますか？ 今やSPIは民間企業ばかりではなく、公務員の一部でも導入されています。特に非言語分野は文系学生にとって早くから慣れておく必要がありますので、今のうちから対策をしておくことが非常に重要です。